

学校の教育目標

1. 進んで学習する人
2. 礼儀を大切にする人
3. 心身共に健康な人

(教育の基本方針) 特別活動の時間の工夫・改善を図り、生徒の主体的活動を支援する。

目指す生徒像

- * 自分自身を大切にするとともに、他の人の立場に立って、その人の気持ちなどを考えることができる生徒
- * 身近な人権問題に対して偏見や差別の解消に努めることができる生徒

- * 日本国憲法
- * 教育基本法、学校教育法
- * 学習指導要領、他教育関係諸法規
- * 都、八丈町教育委員会の教育目標

- * オリンピック・パラリンピックの価値・精神
- * 東京大会2020大会のビジョン

「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針

- * 東京のオリンピック・パラリンピック教育の目標
- * オリンピック・パラリンピック教育の基本的視点
- * オリンピック・パラリンピックの具体的推進策

本校のオリンピック・パラリンピック教育の目標

- (1) オリンピック・パラリンピックの歴史や意義を学ぶことで生徒一人一人がその果たす役割を正しく理解し、考えを深め、自ら率先して平和な社会を実現させる資質や能力を養う。
- (2) 生徒が主体的に運動に取り組む環境を作り、様々な教育活動を通して運動への興味・関心を喚起するとともに計画的な指導によって生徒の体力向上を図る。
- (3) 2020年のオリンピック・パラリンピックを踏まえ、様々な競技に関心をもつことで自らとスポーツとの関わりについて生涯スポーツの視点から考えを深めさせる。

各教科の指導の重点

- * 学習に対する興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を育成するために、各教科において、ICT機器等や視覚教材を工夫したり、体験的な学習や課題解決的な活動を充実させたりする。
- * 個々の生徒の実態に応じた指導内容の厳選及び指導方法の改善、指導形態の工夫を図り指導する。

道徳の指導の重点

- * 生徒一人一人が、自他の生命を尊重し、思いやりの心を育み、人間としての生き方、社会生活に欠かせない協調性、積極的に行動する意欲・粘り強さ・正義感を育てるために、道徳の時間を要として、教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。
- * また、「道徳授業地区公開講座」を通じ、家庭や地域との連携を図りながら「心の教育」の充実を図る。

総合的な学習の時間の指導の重点

- * 生きる力を養うための基礎的で確かな力を養う。
- * 他人の生き方に学び、自らを高める力を育成する。
- * 話し合いやコミュニケーションを大切にし、自己の意見や考えを表現する力を育てる。

スーパー・アクティブ・スクール

- * 体力向上・意識改善を図る。

伝統・文化教育の推進

- * 伝統文化の理解・発信力強化

人権教育の指導の重点

- * 望ましい人間関係を育成し、一人一人が充実した学校生活を送ることができるようにする。
- * 基礎的・基本的な内容を確実に定着させるとともに、一人一人の個性や能力を伸ばさせ、進路指導の充実を図る。
- * 人権課題の歴史的・社会的背景についての正しい認識を深めさせ、その解決を目指す基本的な能力や態度の育成を図る。

指導の重点

		学ぶ(知る)	観る	する(体験・交流)	支える
オリンピック・パラリンピック	の精神	○ 歴史、意義、人物、国際親善や世界平和に果たしてきた役割等、オリンピック・パラリンピックの精神や価値について学ぶ。(社会、道徳、総合)		○ マイルストーンイベントの機会や、教育庁、オリンピック・パラリンピック準備局、組織委員会等が主催する行事に参加し、オリンピック・パラリンピックへの理解を深める。リオデジャネイロ大会期間中のライブサイトを閲覧する。(総合、特活) ○ オリンピズムを具体的な作業から確かめる。(数学)	
スポーツ	オリンピック競技	○ オリンピック・パラリンピックの歴史、意義、人物、競技種目、運動等や、障害者スポーツのルールなどを学ぶ。(理科、保健体育)	○ 運動会をオリンピックに関連付けて企画したり、外部指導者を招いてオリンピックの各種目を体験したりすることなどにより、体育授業の充実を図り、体力向上を図る。(音楽、美術、特活、スーパー・アクティブ・スクール)	○ 外部指導者を招いてパラリンピックの各種目や障害者スポーツ(ボッチャ)を体験したり、体育授業の充実を図ったりすることなどにより、障害者理解を促進するとともに、体力向上を図る。(保健体育、特活)	<異校種間の連携> ○ 中学生が小学生の体育の授業や運動会をサポートする。(総合、特活)
	パラリンピック競技・障害者スポーツ				
文化	日本文化	○ 郷土の伝統文化・料理・芸能を学ぶ。(国語、音楽、家庭、総合) ○ 外部人材と連携し、日本の伝統文化・芸能等を鑑賞するとともに、実際に体験することにより、深く理解する。(音楽、伝統文化教育)			○ 外部人材と連携し、東京や郷土の魅力への理解を深め、おもてなしの心や態度を身に付ける。(外国語)
	国際理解・交流	○ 世界の国々の歴史・文化・芸能等の特徴や多様性を学ぶ。(社会、音楽、道徳、外国語、総合)	○ 海外から留学生等と様々な文化交流を進める。(総合) ○ 地域の外国人や留学生等との交流により、日本の良さを発信する。(外国語、伝統文化教育)		
環境(持続可能性)		○ 大会の歴史と環境、大会の環境テクノロジーなど、オリンピックと環境との関わりについて学ぶ。(国語、社会、理科)	○ 修学旅行で環境分野の取組を見学・体験することを通じて、日本の最新の環境テクノロジーを学ぶ。(社会、総合) ○ 日本や八丈島の生活様式から世界に発信できる環境への取組を学ぶ(社会、技術、総合、特活)		○ 地域の美化活動、ゴミ減量、節電、リサイクル活動等を通じて、環境を守ることへの意識を高める。(理科、外国語)

各学年の指導の重点

第1学年	第2学年	第3学年
* 学級(学年)活動を通して、集団生活に適応させるとともに生活習慣を見直し、体力向上への意識を高める。 * スポーツを通して運動への関心を高める。	* 障害者や外国人との交流を通して、互いの立場を理解し、人権感覚を深める。 * 郷土学習を通して、地域の文化や自然環境に関心をもち、自己の取組を考えさせる。	* オリンピック・パラリンピックを意識したキャリアプランを作成させる。 * 学習の成果を海外や外国人に発信する表現力と配慮を身に付けさせる。